



令和8年度 浪速区運営方針(素案)

令和7年度第2回 浪速区区政会議用資料

経営課題1 安心して子育てができ、子どもたちがいきいきと学べるまちづくり

[R6決算:45百万円 R7予算:49百万円 R8予算:拡充(登校支援に関する事業)]

【課題認識】

- 支援が必要な世帯を早く発見し、的確な支援へつなげること
- 相談しやすい環境と、さまざまな相談内容に応えられる体制づくり
- 子育てに関する情報が、必要な方に的確に届いていないこと
- 学校の実情に応じた教育環境の充実

【主な戦略】

- 相談支援体制の充実、子育てしやすい環境づくり
- 関係機関との連携強化
- 子育て世帯が、必要としている情報を手軽にかつ的確に得られるようにする
- 学校教育環境の充実支援

【評価指標】

- こども家庭センターにおけるサポートプランの作成：希望する世帯に対して全件作成
- 要保護・要支援児童の現状にかかる情報共有及び意見交換：区内全小中学校と実施
- 大阪市LINEのうち、当区「こども・教育」及び「妊娠・出産」項目の登録者数：前年度以上
- 教育活動支援事業を活用して、各学校が設定した目標の達成率：前年度以上



経営課題2 健やかで人と人がつながるまちづくり

[R6決算:24百万円 R7予算:20百万円 R8予算:拡充(地域福祉コーディネーター配置にかかる事業、在宅医療と介護の連携に関する事業)]

【課題認識】

- 支援を必要とする高齢者や障がい者が孤立しないようにすること
- さまざまな相談窓口についての情報発信
- さまざまな課題に対応できる、分野をまたぐ支援体制の充実
- 高齢者や障がい者の権利擁護の推進と虐待予防、それについての情報発信
- 生活習慣病の改善・健康づくりのサポートと、特定健診・がん検診の受診者数を増やすこと
- 単身高齢者が多いなか、健康に住み慣れた地域で安心して暮らせるようにすること

【主な戦略】

- 地域での見守り活動活性化
- 適切な福祉サービスへとつなげる体制づくりと、さまざまな広報活動
- 健康寿命を延ばす取組
- 地域の医療・介護関係者と連携した取組

【評価指標】

- 要援護者名簿を活用した見守り会議の開催：3地域以上
- 高齢者、障がい者、虐待、成年後見など福祉制度や相談窓口の区広報紙による発信：年3回(特集面1回、通常面2回)以上
- 区役所で実施する集団検診(特定健診・がん検診(肺・大腸・乳がん))受診者数：前年度以上
- 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室への相談件数：前年度以上



経営課題3 安全・安心で住みやすいまちづくり

[R6決算:12百万円 R7予算:19百万円 R8予算:拡充(主に職員の会計年度任用職員化、落書き消去活動にかかる事業)]



【課題認識】

- 自助・共助・公助の促進による防災力の強化
- 地域や関係機関等との連携・協働による地域防犯力の向上
- 警察署との連携や、地域・事業者等との協力による犯罪が発生しにくい環境づくり
- 児童が安全に登下校できる通学路の実現

【主な戦略】

- マンションでの災害対策も含めた、自宅避難など「自助」の意識啓発
- 自主防災組織や防災リーダーの育成、避難支援体制の強化や、障がい者や女性などさまざまな人々の視点に立つ「インクルーシブ防災」の浸透(「共助」の支援)
- 区職員の災害対応スキル向上、関係機関との連携協力体制の強化(「公助」の強化)
- 通学路安全プログラムの取組や「子ども110番の家」などの地域による子どもの安全対策による防犯力の向上

【評価指標】

- 広報紙、区民まつり、防災訓練等の機会を活用した防災啓発の実施：5回以上
- 自主防災組織主体の避難所開設運営訓練の実施：全11地域
- 行政、地域、関係機関等が連携した防災訓練の実施：1回以上
- 警察署と連携した地域・事業者等協働の防犯活動実施：3回以上

